

全体立面・断面図

←上から見たとき

瀬途ドーム館の屋上から見ると、それぞれの施設の屋根をつなぐ共有通路が重なって見える。しかし実際は勾配が変化しているため、どの階においても瀬戸内海や亀老山の景色を楽しむことができる。



↓全ての建物をつなぐ共有通路

全ての屋根をつないで形成されている共有通路は、勾配を合わせることでエスカレーターの上を通ることができるようになっている。また、施設の折り返しの地点では駐車場を経由してつながっていたり、2つの施設をつなぐ建物を建設している。

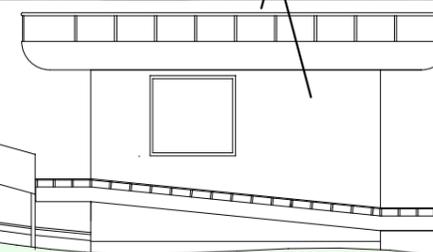


↑エスカレーターから降りるとき

それぞれ施設へ入るメインはBASELINK 瀬途を横断しているエスカレーターである。施設のある高さまで来れば、水平エスカレーターへと変化することで乗り降りやすくなっている。また、他にも屋根や連続したバルコニ

↓下から見たとき

瀬途ツーリング休憩所に入る前に見上げるといくつも施設が連なった圧巻の景色を見ることができる。さらに施設を支える鉄骨が地上に露出しており、施設の上から見る景色とは全く異なった景色を望むことができる。



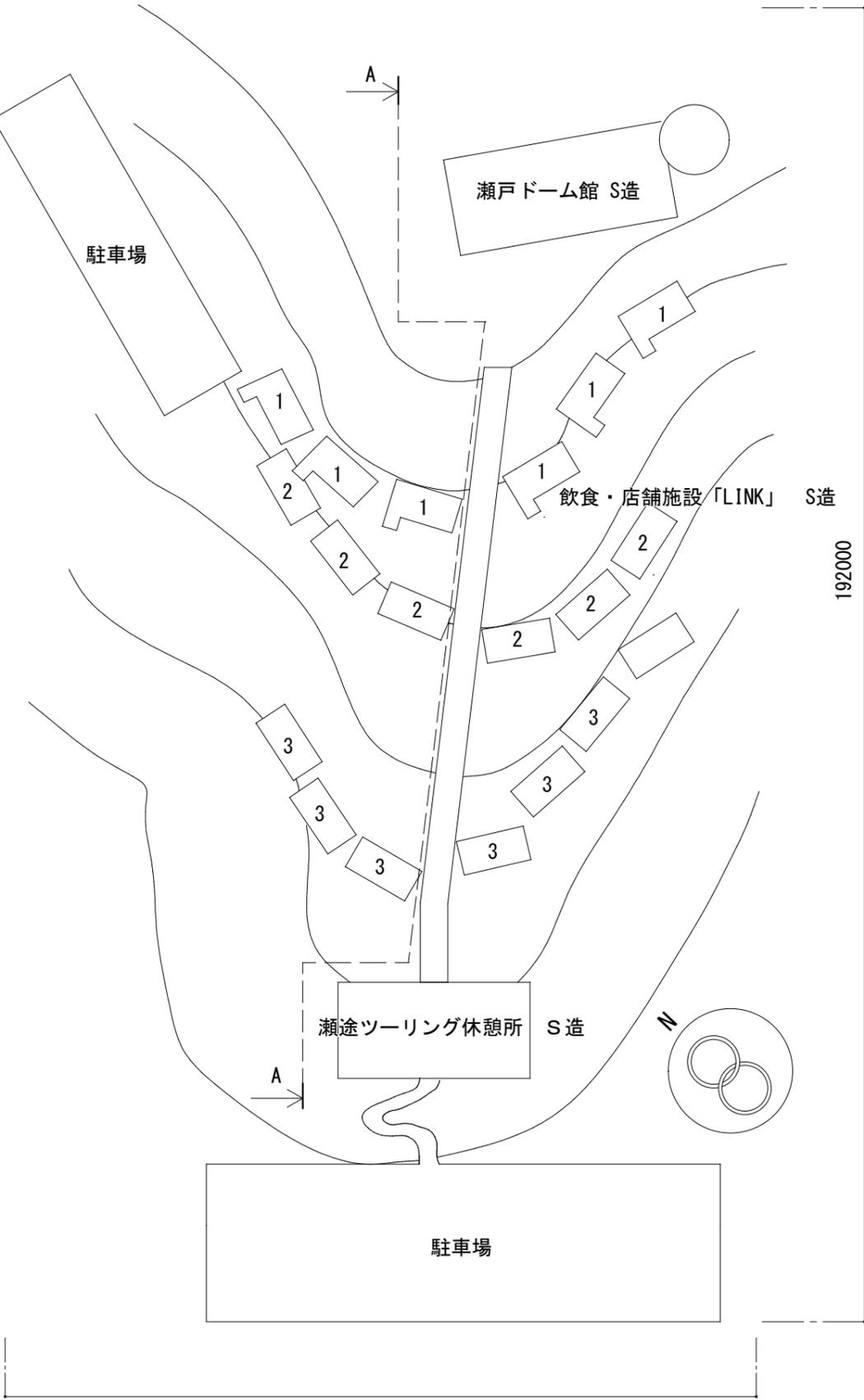
A-A全体断面図 1/250

全体立面図 1/400

〈建築概要〉

- 敷地面積 15360㎡
- 延べ床面積 5775㎡
- 構造形式 S造

配置図



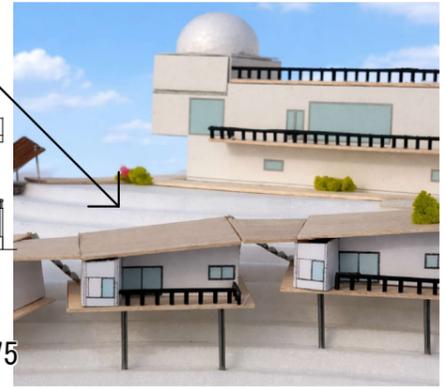
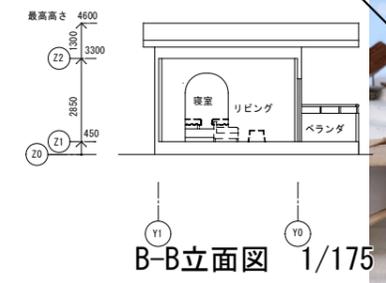
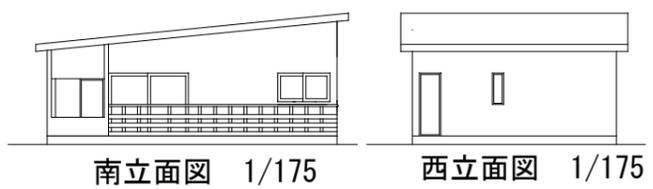
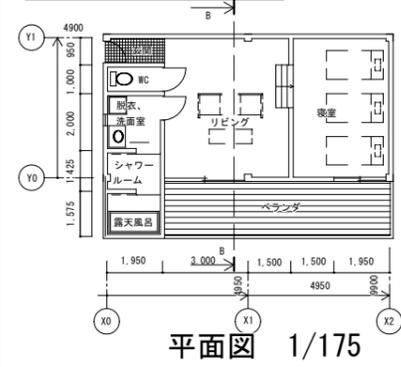
90000
配置図 1/600

飲食・店舗施設「LINK」

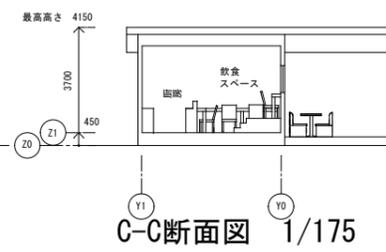
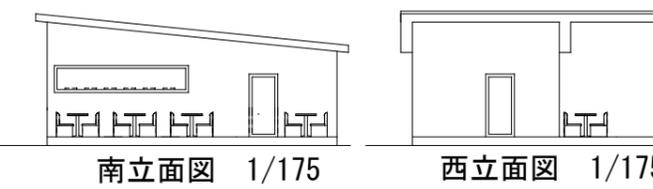
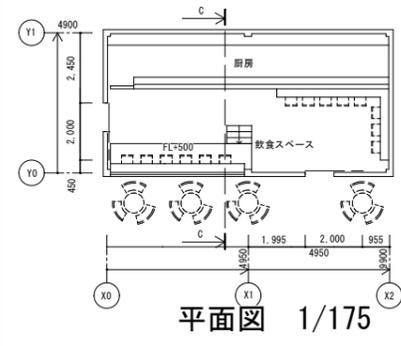
途を繋ぎ、空間を繋ぐ新しい形の拠点

プライバシーの観点から宿泊施設には建物前に通路を設けない設計とした。そのため、入り口は屋根を繋いだ共有通路から降りる仕組みとなっている。

1 宿泊施設

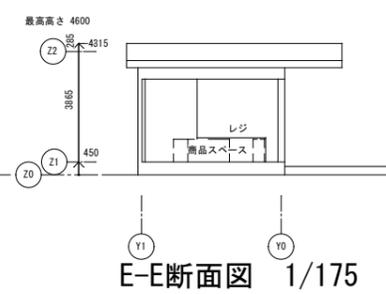
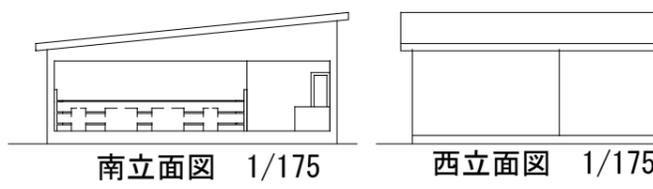
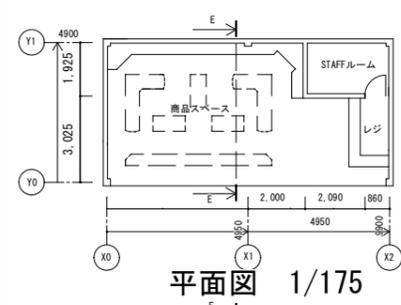


2 飲食施設

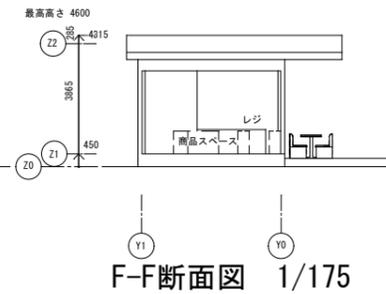
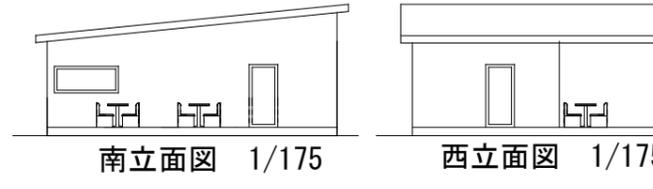
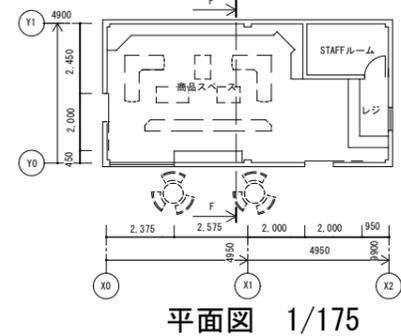


飲食施設は、室内型3棟と半開放型3棟に分かれている。共有バルコニーにも席を配置しており、建物同士の境目なく自由に飲食が行える。

3 店舗施設



店舗施設は室内型3棟と全開放型3棟に分かれている。ここでは愛媛や大島の特産物が買える。

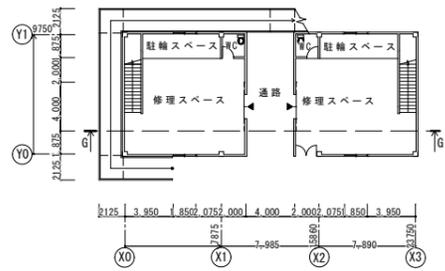


F-F断面図 1/175

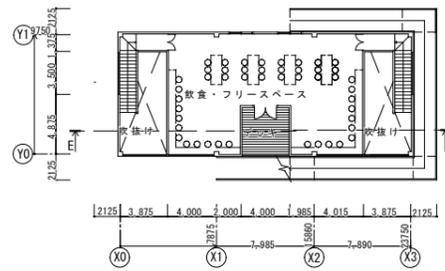
瀬途ツーリング休憩所



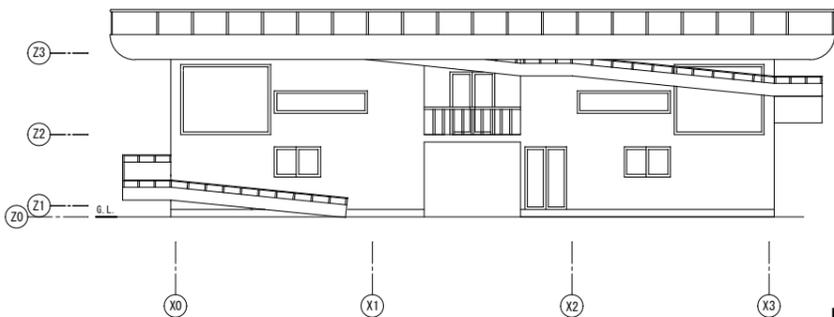
BASELINK 瀬途の入口であり、サイクリングをさらに楽しめる場所。



1階平面図 1/350



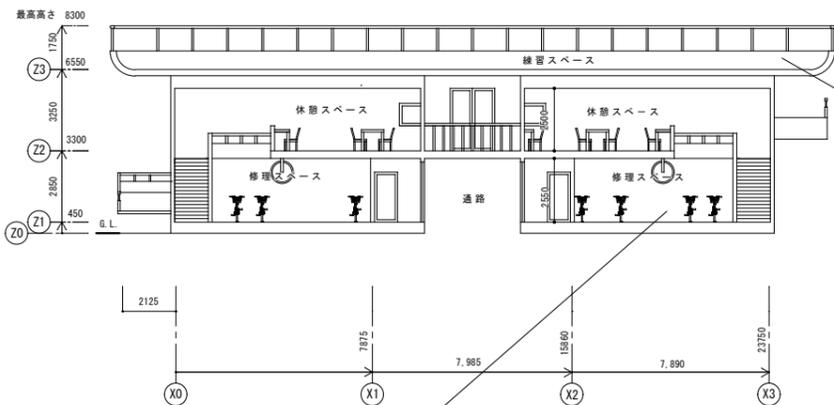
2階平面図 1/350



南立面図 1/200



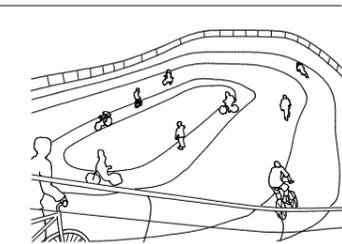
屋上のスロープは店舗スペースと繋がっており、自由な行き来が可能になる。



1階 修理スペース

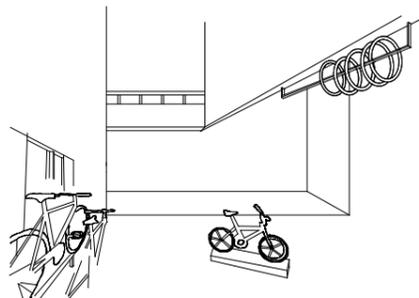
G-G断面図 1/200

屋上 練習スペース



中央に向かって緩やかな勾配となっている。そのため、家族連れやサイクリストなどその人に合ったコース選択ができる。

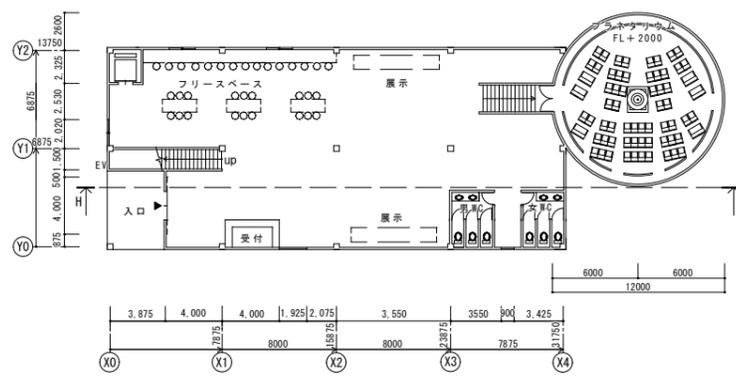
修理スペースの奥には室内に駐輪場を設けている。また、様々な修理に対応できるように2階床部分の空間を利用し、備品を置けるようにした。



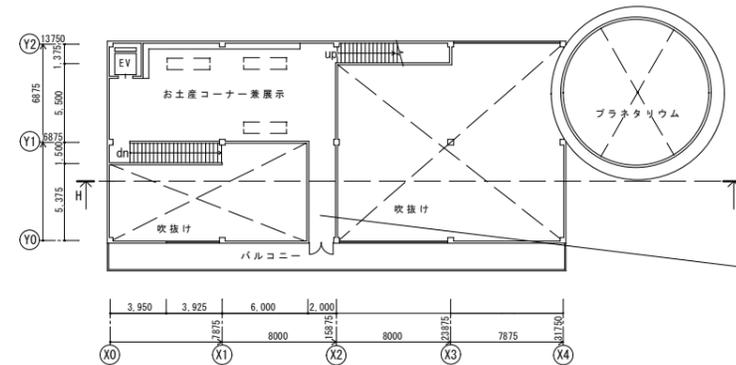
瀬途ドーム館



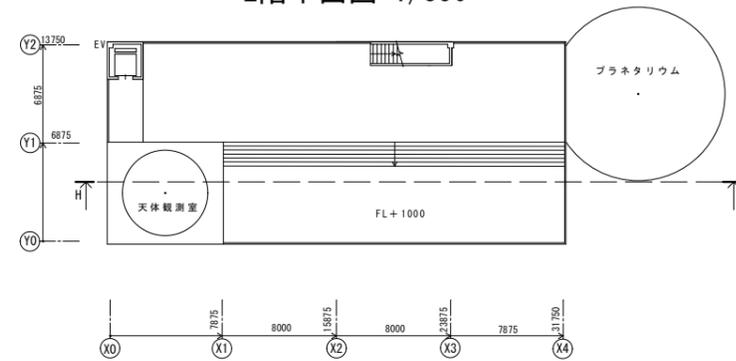
愛媛の魅力ある景色を一望できる特等席



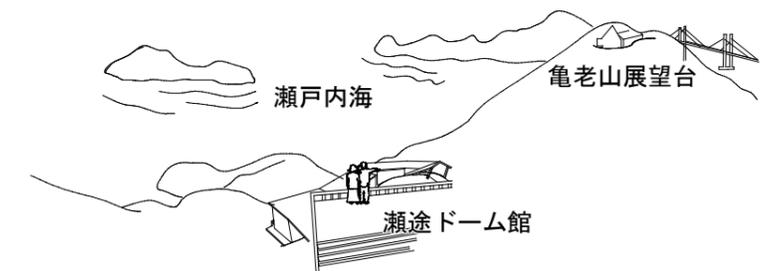
1階平面図 1/350



2階平面図 1/350



屋上平面図 1/350



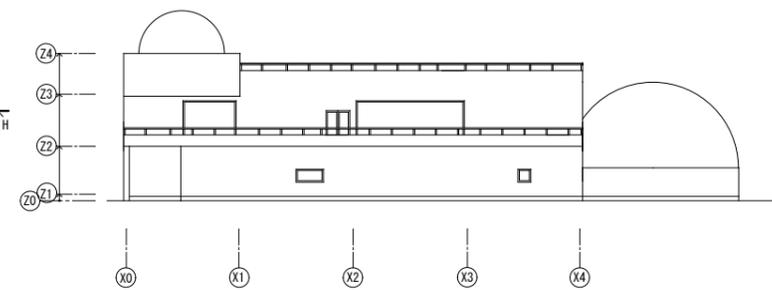
施設屋上から見た景色

前方左に瀬戸内海、前方右側に亀老山展望台、さらにその奥からしまなみ海道が見える。

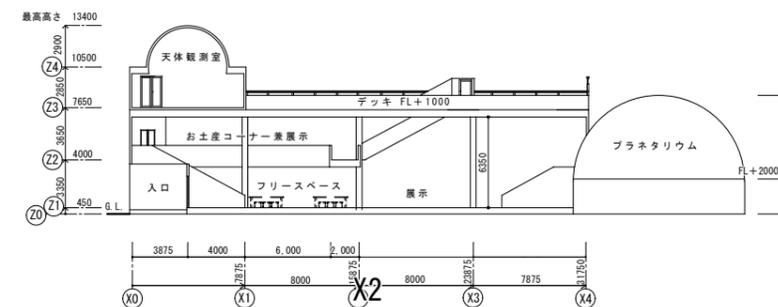


2階 吹き抜けを横断する通路

吹き抜けを横断できる通路を設け、室内から展示やプラネタリウムを上から眺めることができる。また、外のバルコニーにもつながっており、室内外の景色を自由に楽しむことができる。



南立面図 1/350



H-H断面図 1/350